

# パブリックコメント案件概要

案件名：尼崎市総合交通計画の策定について

(様式3)

## 1. 施策の概要

公共交通の需要減少、新型コロナウイルス感染症等の影響や新たな生活様式の定着を迎え、将来を見据えた交通のあり方を再構築するための総合的な交通計画を策定する。

## 2. 施策策定(見直し)に至った背景・問題点など

人口減少や超高齢化による公共交通の需要減少という従来からの課題に加え、近年はドライバー不足・高齢化も深刻となり、今後移動手段をどのように確保していくか、市や公共交通事業者だけでなく多様な主体の取組も含めて交通サービスのあり方の検討が求められている。

国が「交通とまちづくりの連携」などを推進する中、本市においても、交通や交流の拠点となる鉄道駅周辺を中心に、多様な主体との連携、駅前空間や公共空間の有効活用等により、賑わい創出や魅力向上に取り組んでいる。

将来を見据えた交通のあり方を再構築し、様々な分野とつなぎ、連携を図りつつ取組を進めるため、総合的な交通計画を策定する。

## 3. 目指す姿・対応策など

暮らしやすさと働きやすさが調和し、人が“つどう”まち

## 4. 施策の対象範囲・期間など

対象 市民、通勤通学来訪者、交通事業者、企業、団体、行政等

期間 令和6年度(2024年度)～令和15年度(2033年度)までの10年間

## 5. 市民意向調査の概要(ステップ1、2省略の場合はその理由)

公共交通や移動への市民等の意向を確認するため、アンケート調査及び市民説明会等を実施した。

①アンケート調査：郵送によるアンケートに加え、広く交通利用者の意見を収集するためにWEBアンケートも実施した。WEBアンケートの周知には公式ラインやあま咲きコインのプッシュ通知などを活用し、多くの方の回答を得ることができた。

【郵送】無作為抽出した市民：587/1,800人(32.6%)、事業所：358/1000社(35.8%)

【WEB】市民・通勤通学者・公共交通機関利用者・来訪者：3,349人

②市民説明会：市内6地区の生涯学習プラザでパネル展を開催したほか、6地区のプラットフォームに参加。公共交通への満足度が比較的高いこと、交通ルールが守られていないことへの意見が多く寄せられた。

## 6. 施策の検討経過

### (1) 素案検討過程での主な論点

尼崎市交通政策分科会を5回、同部会を3回開催し、審議を行ったほか、議員や市民も参画する尼崎市都市計画審議会や他の5つの専門分科会へも意見聴取を行った。主な論点は次のとおり。

- ・住民だけでなく、在勤者や観光などでの来訪者も計画の対象となるため、市域内外の移動の実態を踏まえ、幅広い観点で検討を行い、多様な人が行き交い“つどう”まちをキーワードに交通体系の将来像を示すこと。
- ・市民主体の活動を取り上げ、既存の取組とともに体系的にまとめるとともに、関係者全員が共通認識を持つことができる目標を示し、わかりやすい計画とすること。
- ・上位計画を踏まえて、まちづくりとの連携を盛り込んだ計画とすること。

### (2) 策定過程で比較検討した複数案の主な項目と反映理由

- ・市民アンケートの結果を踏まえ、交通ルールを守り、安全・安心に移動できる社会の実現について施策の中に位置付けた。
- ・分科会での議論を踏まえ、カーシェアリングやシェアサイクル等のシェアリングサービスについて、交通利便性の向上だけでなく、環境負荷の低減や都市空間の有効活用の観点も盛り込んだ。
- ・交通は市民生活にとって身近かつ福祉や環境など多様な分野との関連があるため、総合計画の主要取組項目から着想を得た計画推進の視点を設定した。

## 7. 今後のスケジュール

令和6年1月15日から令和6年2月5日まで パブリックコメント募集

令和6年3月頃 パブリックコメント結果の公表

令和6年4月頃 計画の公表

## 8. 添付資料

尼崎市総合交通計画(素案)

尼崎市総合交通計画(素案)【概要版】

## 9. お問い合わせ先

都市整備局都市戦略推進担当 〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号 本庁北館6F

電話番号(TEL) .....06-6489-6620、ファクス(FAX) .....06-6488-8883

メールアドレス(Eメール) .....ama-toshisenryaku@city.amagasaki.hyogo.jp